

2024年10月23日
2024世界自動車博物館会議 日本大会
実行委員会事務局



～日本のクルマ文化を世界に発信～
「2024世界自動車博物館会議 日本大会」アジアで初開催

2024年10月29日(火)から11月1日(金)の期間、日本の自動車メーカーが属する日本自動車工業会と、国立科学博物館などが加盟する全国科学博物館協議会が共同主催し、“オールジャパン”体制で「世界自動車博物館会議(WFFMM)」を日本で初めて開催します。

10月30日・31日の会議では「温故知新」をテーマに、1980年代から1990年代の日本車の世界的な人気の洞察、現状のヘリテージ、博物館の将来、そして日本らしさなどをキーワードにした8つのディスカッションが行われます。会場であるトヨタ博物館(愛知県長久手市)を貸切とし、12社の国内自動車メーカーと2社のバイクメーカーから36台の車両が展示されます。11月1日には、富士スピードウェイと富士モータースポーツミュージアム(静岡県小山町)を視察します。

世界自動車博物館フォーラム事務局のマイケル・ペン議長は、「日本の自動車産業の歴史と、大衆文化への影響、そしてモビリティのダイナミックな進化を考えると、今こそ日本でこの会議を開催する絶好の機会です」と述べています。

このフォーラムは1988年に、英国立自動車博物館の実質的オーナーであるモンタギュー卿によって設立され、世界中の自動車博物館が直面するさまざまな課題について話し合う場として、また、自動車の遺産に情熱を持つ人々と出会い、交流する機会を提供して、2年ごとに開催されています。

「会議のテーマである『温故知新』は、業界の変革期に特に関連しており、私たちが過去から何を学び、未来にどう生かすことができるかを考えるものです。日本でこのイベントを初めて開催できることを光栄に思います」とペンは続けました。

2024 世界自動車博物館会議 実行委員会



HONDA

NISSAN
MOTOR CORPORATION



ISUZU



Kawasaki
Let the Good Times Roll



TOYOTA

ご賛同企業紹介

四国自動車博物館
SHIKOKU AUTOMOBILE MUSEUM

NOMURA
乃村工藝社



TOPPAN



WAKUI
Rolls-Royce & Bentley

株式会社 トヨタワールドインターナショナル